



認証部会活動報告と計画 2021年度

DEOS協会 認証部会
主査 高村博紀

認証部会について



【目的】

- DEOS認証制度の開発・維持・管理をおこないます

• 現在ある認証スキーム

D-Case認証

- D-Case教材認証 (D-Case教育シラバス構造編v 1.11準拠)
- D-Caseツール認証 (D-Case構文定義書v 1.0準拠)



• DEOS認証の対象

DEOS協会の各部会が規定したもの、各部会によりDEOS認証にふさわしいと合意され、DEOS協会により承認されたもの
IEC62853及びそのJIS C62853に関連したもの

DEOS認証制度について

- 現在あるD-Case認証は、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）技術本部ソフトウェア高信頼化センター（SEC）により定められた「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に則り構築しました
- これは、自己宣言に対して、その妥当性を当協会が審議したものの必要なエビデンスなどに基づいて審査します
- 今後は上記のみならず、対象により認証スキームの構築を考えていきたいと思えます

2021年度の活動計画



- D-Case認証(更新)の審査を実施します
申込みがあった場合は審査委員会を発足し審議に入ります
- 認証部会はDEOS認証に資する素材の発掘、認証スキームの構築をおこなう部会です。

開発予定の認証スキーム

- IEC 62853認証スキーム構築
 - IEC 62853に関わるDEOS認証の枠組みを構築します
 - 認証制度構築に係る調査を標準活用部会、技術活用部会を含む関係者と開始します

参加者を募集します



- 技術活用部会や標準活用部会、OSD部会など他の部会と連携しながら、DEOS認証に資すると思う対象の抽出と認証スキームの構築に興味がありましたら是非参加ください
- 他の部会で活動されていて、これはDEOS認証にすべきだ！
といった形でも構いません
- 連絡先
DEOS事務局もしくは、
私まで、ご連絡ください
takamura-hiroki@jqa.jp